

電力広域的運営推進機関 第311回理事会議事録

- 1 開催日時 2021年(令和3年)8月25日10時00分～10時30分
- 2 開催場所 豊洲事務所(江東区豊洲6-2-15)理事会室(ウェブ会議)
- 3 理事長・理事総数及び定足 総数5名、定足数3名
- 4 出席した理事長・理事数 5名
(出席) 大山理事長、都築理事、寺島理事、内藤理事、土方理事
(欠席)
(監事出席) 古城監事、千葉監事
- 5 議題

決議事項

- 第1号議案 再エネ業務統合システムの設計開発及び運用保守業務委託に関する入札の落札者決定について
- 第2号議案 電力需給及び電力系統に関する概況(2020年度の実績)の公表及び電力需給及び電力系統に関する概況(2018年度の実績)の記載の適正化について
- 第3号議案 「容量市場業務マニュアル メインオークションへの応札・容量確保契約書の締結編(対象実需給年度:2025年度)」の策定および公表について
- 第4号議案 九州本土における再生可能エネルギー発電設備の出力抑制の妥当性について

6 議事の経過および結果

定刻に至り、定款に基づき大山理事長が議長となり、定足数の充足を確認した後、本会議の成立を宣した。続いて、議案の審議に入った。

決議事項

- 第1号議案 再エネ業務統合システムの設計開発及び運用保守業務委託に関する入札の落札者決定について
- 都築理事から、第305回理事会の決議に基づき実施した再エネ業務統合システム設計開発及び運用保守業務委託の入札について、入札説明書の規定に基づき、受領した入札書及び提案書並びにプレゼンテーションにより総合評価を行った結果、別紙の事業者を落札者として決定し、契約に関する協議を行いたいとの提案があった。議長から、議案について出席者に諮ったところ、全員異議なく原案どおり承認可決した。
- 第2号議案 電力需給及び電力系統に関する概況(2020年度の実績)の公表及び電力需給及び電力系統に関する概況(2018年度の実績)の記載の適正化について

都築理事から、業務規程第181条の規定に基づく年次報告書の一つとして、別紙のとおり、電力需給及び電力系統に関する概況(2020年度の実績)を取りまとめたので、本機関ウェブサイトで公表したい旨、併せて、2019年8月7日開催の第209回理事会において公表された、電力需給及び電力系統に関する概況(2018年度の実

績)について、一部記載を適正化し、改めて本機関ウェブサイトで公表したいとの提案があった。議長から、議案について出席者に諮ったところ、全員異議なく原案どおり承認可決した。

第3号議案 「容量市場業務マニュアル メインオークションへの応札・容量確保契約書の締結編（対象実需給年度：2025年度）」の策定および公表について

土方理事から、容量市場の2021年度メインオークションの実施にあたり、業務規程第32条の5の規定に基づき、メインオークションへの応札を希望する事業者に対して、メインオークションへの応札、容量確保契約書の締結をする事業者の具体的な手順等を定めた「容量市場業務マニュアル メインオークションへの応札・容量確保契約書の締結編（対象実需給年度：2025年度）」の策定及び公表を行いたいとの提案があった。議長から、議案について出席者に諮ったところ、全員異議なく原案どおり承認可決した。

第4号議案 九州本土における再生可能エネルギー発電設備の出力抑制の妥当性について

内藤理事から、業務規程第180条第1項の規定に基づき、2021年7月に実施した九州本土における再生可能エネルギー発電設備の出力抑制に関する九州電力送配電株式会社からの資料の提出を受け、同第2項の規定に基づき、一般送配電事業者の出力抑制が法令及び送配電等業務指針に照らし妥当であったか否かを確認及び検証した結果、別紙1のとおり妥当であると認め、その結果を別紙2により公表したいとの提案があった。議長から、議案について出席者に諮ったところ、全員異議なく原案どおり承認可決した。

以上をもって議案の審議等を終了したので、10時30分、議長は閉会を宣し、解散した。

以上、この議事録が正確であることを証するため、出席した議長、理事及び監事は記名押印する。

2021年8月27日

理事長 大山 力

理事 都築 直史

理事 寺島 一希

理事 内藤 淳一

理事 土方 教久

監事 古城 春実

監事 千葉 彰